

ながら見守りの方への挨拶を

かわら版今月号で、「ながら見守り」について、吉敷地域の方々へ再度、問題提起・依頼をしました。

土曜日に行われた鴻南中学校の学校運営協議会でも見守り活動について話題になり、見守り活動の衰退についてかなりの危機感を持っておられることがよく分かりました。本当に、数年後には、見守り活動がなくなってしまう恐れがあると思います。

今日の朝、ご婦人が本校校門前を犬の散歩をしながら通られました。お話はしていませんが、きつとながら見守りをしていただいているのではないかと思います。



地域の方々の中で、一人一人のながら見守りの意識が高まってくると、きっと大きな取組ができると思います。今後とも、地域への啓発にダイナミックチャレンジしていくつもりです。

地域のながら見守りが活発になっていくために学校でできること、しなくてはならないことは、ながら見守りをしていただいているの方々への感謝の気持ちを、直接伝えることだと思います。

やってみようかと思われた地域の方が、初日から、子ども達から、「おはようございます」「ながら見守りありがとうございます」と、明るく元気に、挨拶をしてもらえると、次の日からも続けてもらえるでしょう。

先生方、明日の朝、是非、全児童に、ながら見守りについて話し、登校時に出会った地域の方々に、自分から挨拶をしていくよう指導して下さい。

先月発生の子どもの死傷事故・事件がきっかけとなり、子どもの安全に対する吉敷地域の皆さんの関心も大きくなっていることと思います。呼びかけた今こそがチャンスです。学校も取り組み、地域も応える。この好循環を活性化していきましょう。

レノファースポーツ教室と校内研修

先週、レノファのスポーツ教室が、5年生児童を対象に行われました。

これは、レノファのホームタウン活動の一つとして県内各地で行っている活動です。主として幼稚園や保育園で行っているようですが、小学校も対象です。本校では、4学年が希望し、抽選で5年生となりました。

2日にわたって1学級ずつ指導していただき、児童も大変喜び、充実した1時間となりました。

サッカー指導というより、ボールを使った「体づくり」運動だと感じました。次から次へと変化（深化）していく活動に、児童は飽きることなく楽しんでいました。コーチ陣の指示も的確で、体育指導の研修としても価値のある時間だったと思います。



他学年の先生方、特に体育指導の苦手な先生にも是非とも見ていただきたいと思いました。そのため、お願いをして2回目の教室を開催してもらうことにしました。レノファ側の希望で、2年生を対象に行います。10月か11月に行う予定です。

ところで、レノファは昨日も、アビスパ福岡に4-2と大勝しました。本校児童が応援エールを贈ってから、何と2勝2分けと無敗の快進撃です。レノファからは何も言ってもらえませんが、レノファの選手の心に火をつけたのは私たち良城小に違いないと思っています。

今週、本校と大歳小、鴻南中の関係者が集まって、今後のレノファとの連携について話し合います。さらに広域のダイナミックチャレンジにご期待下さい。